

第34回 Smart Wellness City 首長研究会 アジェンダ

全体テーマ：見附市のSWC取り組みはなぜ成果が出ているのか

主催 Smart Wellness City 首長研究会
 共催 筑波大学スマートウエルネスシティ政策開発研究センター
 後援 (一社)スマートウエルネスコミュニティ協議会
 会場 新潟県見附市文化ホール「アルカディア」/ ハイブリッド開催 zoom
 日時 2026年5月28日(木) 10時30分～17時35分 (受付開始 10時00分) / ナイトサイエンス 18時30分～20時30分
 2026年5月29日(金) 9時00分～11時40分/12時45分 (予定)

【1日目】 5月28日(木)

- 10:00～ 受付 / zoom 接続開始 (10:15～)
- 10:30～10:50 **会長挨拶** 豊岡武士 静岡県三島市長
開催地首長挨拶 稲田 亮 新潟県見附市長
初参加首長の自己紹介 栃木県さくら市、宮崎県えびの市 (zoom)
- 10:50～11:30 **開催地首長講演** (発表30分・質疑応答10分)
 スマートウエルネスみつけから笑顔あふれる暮らし満足 No.1 へ
 稲田 亮 新潟県見附市長
- 11:30～12:30 **シンポジウム①** (発表各10分・総合ディスカッション30分)
 各自治体のSWCの取り組み成果と課題
 「健幸・つながりのまちづくり～歩き、語り合う、健やかな未来～」 濱崎真也 東京都国立市長
 「三島市が挑戦する「健幸都市」づくり」 豊岡武士 静岡県三島市長
 「SWCを通じた幸福のまちづくり」 山本 進 北海道東神楽町長
- 12:30～13:30 **昼食休憩 (お弁当用意あり)**
- 13:30～14:10 **講演①** (発表30分・質疑応答10分)
 健康政策から健幸 (Well-being) 政策への具体策とは
 久野譜也 筑波大学大学院 人間総合科学学術院 教授
- 14:10～14:40 **基調講演①** (発表20分・質疑応答10分)
 健幸政策に資する公共交通政策とは 寺田吉道 国土交通省 国土交通審議官
- 14:40～14:55 **休憩**
- 14:55～15:05 **講演②** (発表10分)
 SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」の概要と狙いについて
 坂西義史 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局企画官
- 15:05～15:35 **講演③** (発表20分・質疑応答10分)
 シミュレーション技術による社会実験の取り組み
 倉橋節也 筑波大学 客員教授・東京家政学院大学 特任教授
- 15:35～16:05 **講演④** (発表20分・質疑応答10分)
 女性を健幸にする政策の具体策とは 塚尾晶子 つくばウエルネスリサーチ 取締役副社長
- 16:05～16:20 **休憩**
- 16:20～16:40 **産業界からの最新トピックス** (発表15分・質疑応答5分)
 栄養モニタリングサービス Vivoo のご紹介
 高谷浩司 大塚製薬NC事業グループ eコマース部部长

- 16:40~17:10 **講演⑤** (発表20分・質疑応答10分)
 スポーツクラブがもたらす社会的価値
 岡田 明 EYストラテジー&コンサルティング パートナー
- 17:10~17:40 **基調講演②** (発表20分・質疑応答10分)
 国民のウェルビーイング向上と地域経済・社会の活性化に向けたスポーツ政策
 浅野敦行 スポーツ庁 次長
- 17:40~17:45 **1日目終わりの挨拶**
 豊岡武士 静岡県三島市長
- 18:30~20:30 **ナイトサイエンス(懇親会)** イングリッシュガーデンホテル (移動専用バス10分)

【2日目】5月29日(金)

20年を超えるSWC見附の成功の秘密を探る視察ツアー（別添参照の上、AまたはBを選択ください）

目的：これまで見附市では、「健幸」をまちづくりの中核に据え、従来の一部の関心層に限られがちであった健康施策から転換し、市民が住んでいるだけで自然と健康になれる「歩く」ことを基本としたスマートウエルネスシティの実現に取り組んできました。その中で重視してきたのが、社会参加（外出）を促す場づくりです。公共施設や商業・医療施設を集約し、コミュニティバスを運行することで外出機会と交流を創出し、歩数の増加や生きがいづくりを通じた健康増進につなげています。さらに、施設は整備にとどまらず、持続的に活用されるよう運営面にも工夫を重ねています。本視察では、こうした場づくりと運営の仕組みを一体的に進めてきた取組をご紹介します。

コースA (昼食有)：みつけイングリッシュガーデン（集合9時）→ネーブルみつけ→プレイラボみつけ
 →道の駅パティオにいがた（各自昼食）→MITSUKERU・見附駅（解散12時45分ごろ予定）

コースB (昼食無)：みつけイングリッシュガーデン（集合9時）→道の駅パティオにいがた
 →ネーブルみつけ→MITSUKERU・見附駅（解散11時40分ごろ予定）

・みつけイングリッシュガーデン

本格的な英国式庭園で、バラの季節には息を飲むほど美しい光景が広がります。草花の植栽やメンテナンスは市民ボランティアグループが行っており、令和6年には英国の国民的園芸競技会「ブリテンインブルーム」において英国外で初めて、「ゴールドコミュニティ賞」を受賞しました。

・ネーブルみつけ

撤退したスーパーをリノベーションし平成16年にオープン。健康運動教室や子育て支援センター、市のアンテナショップもあり、様々な人が利用する交流の拠点施設です。MOM UP PARKもここで実施しています。

・プレイラボみつけ ※コースAのみ

旧商業施設をリノベーションし整備した2階建て屋内施設。大型遊具やワークスペースを備え、放課後や休日に天候に関係なく運動などをして自由に過ごすことができます。子どもたちが自分たちで施設のルールをつくり運用しているのも特徴です。

・道の駅 パティオにいがた

広大な芝生広場を備え、遠くには守門岳・粟ヶ岳を望む絶好のロケーションを誇ります。令和8年4月に地元企業が新たな指定管理者として運営を開始。災害時には、自衛隊やボランティアの活動拠点になります。

・MITSUKERU (ミツケル)

見附駅前駐輪場の2階をリノベーションした交流拠点。利用者同士の交流や公共交通の待合い、仕事、勉強などができる場所として整備。今まで創出することが難しかった若者が交流する場としての機能に加え、モビリティハブとしての機能も担っている施設です。